

第6章 収支計画及び施設整備計画

電気事業

(1) 収支計画

効率的な発電や経費支出の効率化を行うこと等により、1億円～3.3億円程度の純利益を確保できる見通しです。

内部留保資金については、災害、渇水等の非常時に備えた経営資金として5億円程度を保有するなど、安定的な経営基盤を確保しながら、平瀬発電所建設事業やリパワリング事業、老朽化した発電所の更新などに計画的に活用するとともに、将来的な電力市場の自由化の方向性が未だ不透明なことから、より経営の安定化を図るため、できる限りの充実、確保に努めます。

【収支計画】

(単位：百万円)

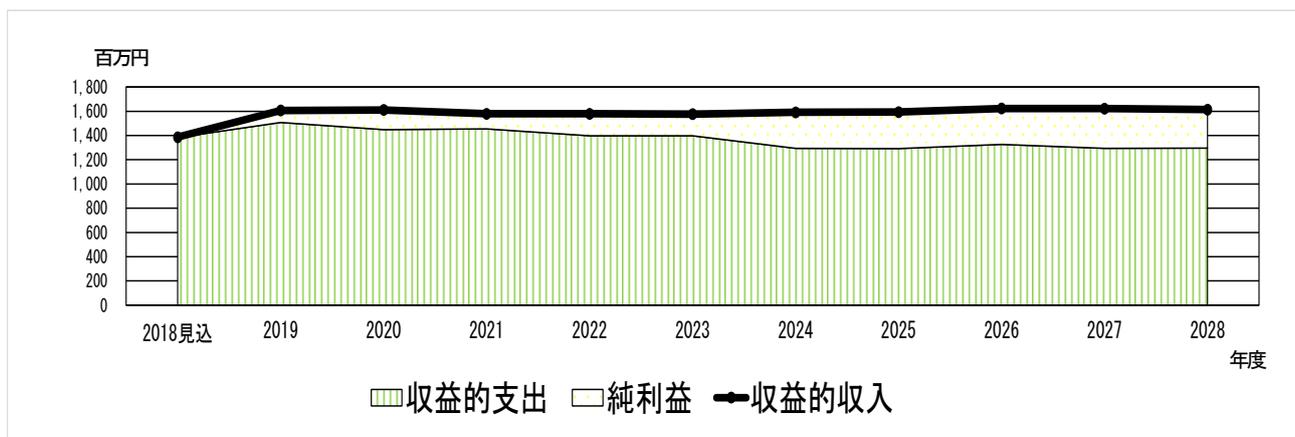
		2018見込	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
収益的 収 支	収入	1,386	1,607	1,611	1,579	1,579	1,576	1,592	1,594	1,623	1,622	1,614
	電力料収益	1,324	1,544	1,556	1,531	1,531	1,531	1,538	1,541	1,567	1,567	1,559
	支出	1,383	1,507	1,448	1,454	1,397	1,398	1,294	1,292	1,326	1,295	1,296
	減価償却費	318	312	300	305	291	277	347	328	340	345	381
	支払利息	17	11	7	4	2	1	1	1	1	1	0
	純利益	3	100	163	125	182	178	298	302	297	327	318
資本的 収 支	収入	11	31	64	0	0	0	0	0	0	0	0
	企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出	348	1,115	719	639	738	1,228	163	472	579	1,153	135
	建設改良費	188	968	590	559	709	1,208	149	461	577	1,151	135
	企業債償還金	157	144	129	80	29	20	14	11	2	2	0
	収支差引	▲ 337	▲ 1,084	▲ 655	▲ 639	▲ 738	▲ 1,228	▲ 163	▲ 472	▲ 579	▲ 1,153	▲ 135
	内部留保資金（単年度）	274	▲ 579	▲ 130	▲ 150	▲ 192	▲ 656	504	208	118	▲ 367	586
	内部留保資金（累計）	5,210	4,631	4,501	4,351	4,159	3,503	4,007	4,215	4,333	3,966	4,552
	企業債残高	431	287	158	78	49	29	15	4	2	0	0

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み

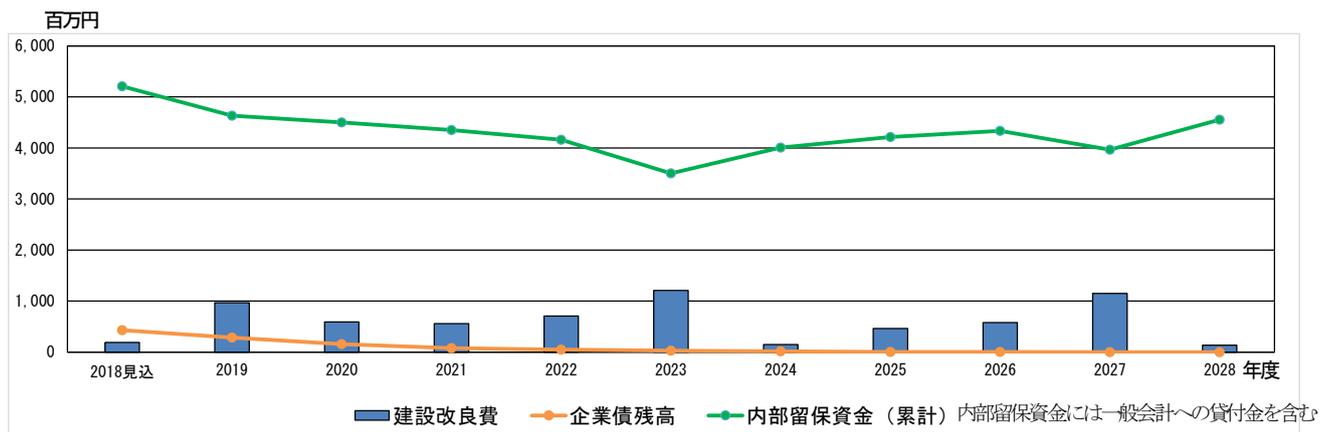
※資本的収支は一般会計への貸付金を除く

※内部留保資金には一般会計への貸付金を含む

【収益的収支（事業の管理や運営に関する収支）の見通し】



【建設改良費、企業債残高及び内部留保資金の見通し】



■ 収支計画の基本的な考え方

【収益的収入】

- ・ 発電量は直近の目標電力量に過去10年間の発電達成率の平均（相原発電所及び宇部丸山発電所にあつては過去2年間の平均）を乗じたものとし、料金単価は、相原発電所及び宇部丸山発電所にあつては再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づく単価（34円/kWh）、その他10発電所にあつては現行単価（9円/kWh程度）を基本に総括原価の見通しを加味した単価としています。
- ・ 更に、リパワリング実施や平瀬発電所運転開始による発電量の増加等を加味しています（平瀬発電所は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の適用を想定しています）。

【収益的支出】

- ・ 修繕費は「電気事業施設整備10か年計画」（2019～2028年度）に基づく事業費等を計上し、その他の維持管理費は直近3年間の実績をもとに計上しています。
- ・ 減価償却費は、既存分に今後の建設改良費を加味して計上しています。

【資本的収入】

- ・ 企業債の起債は行いません。

【資本的支出】

- ・ 建設改良費は、「電気事業施設整備10か年計画」に基づく事業費等を計上しています。

(2) 電気事業施設整備10か年計画(2019年度～2028年度)

- 総事業費 98億円程度(建設改良63億円程度、修繕35億円程度)
- 主な事業

内容	計画期間中の事業費
平瀬発電所建設事業(2019年度～2023年度)	約 8億円
リパワリング(菅野、生見川、佐波川、徳山、新阿武川)	約 6億円
オーバーホール(菅野、生見川、小瀬川、水越、佐波川、木屋川、徳山、末武川、本郷川、新阿武川)	約19億円
その他の改良修繕	約65億円

※ リパワリングは、採算性の確保を前提に実施

※ 保安規程等に基づく点検整備及び設備更新を実施(オーバーホールは概ね12年ごと)

【主な事業内容及び予定年度】

(建設工事)

発電所	内容	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	
平瀬	発電所建設											

(改良工事)

発電所	内容	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
菅野	リパワリング										
	主変圧器取替										
徳山	リパワリング										
生見川	リパワリング										
末武川	監視操作盤取替										
東部	監視制御設備取替										
佐波川	リパワリング										
	発電機取替										
西部	監視制御設備取替										
新阿武	リパワリング										
	発電機コイル取替										

(修繕工事)

発電所	内容	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
菅野	水車発電機OH	■									
水越	水車発電機OH		■	■							
徳山	水車発電機OH						■	■			
本郷川	水車発電機OH								■	■	
生見川	水車発電機OH	■									
小瀬川	水車発電機OH	■	■								
末武川	水車発電機OH							■	■		
佐波川	水車発電機OH			■	■	■	■				
	導水路・放水路修繕				■						
木屋川	水車発電機OH					■	■				
新阿武	水車発電機OH								■	■	

(OH=オーバーホール)



平瀬発電所建設事業



徳山発電所



佐波川発電所



新阿武川発電所

工業用水道事業

(1) 料金改定方針

今後の老朽化・耐震化対策の推進等により建設改良費が増加することが見込まれていることから、以下の方針により低廉な料金水準の維持を図っていきます。

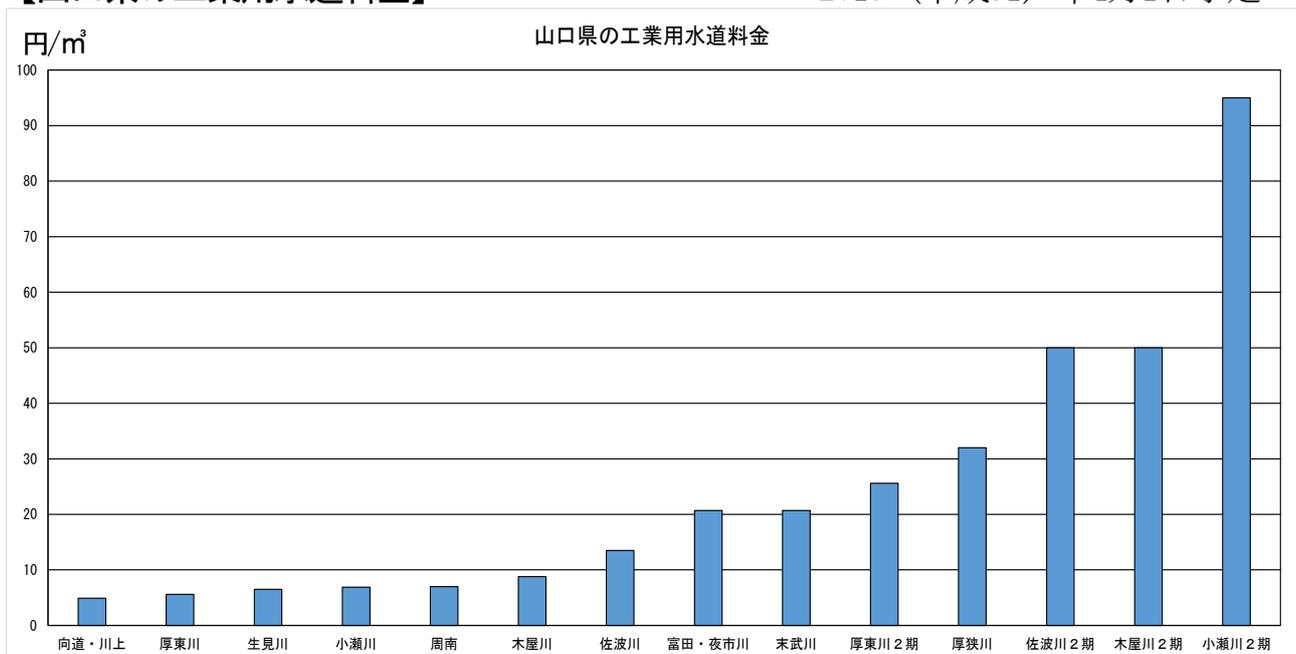
◇ 料金原価に基づく算定を基本とし、「工業用水道事業施設整備10か年計画」等に基づく建設投資の平準化を図りつつ、低廉な料金水準の維持を図ります。

◇ 現行料金（責任水量制換算）を継続し、料金原価が現行料金を下回る事業について特別積立金を計上すること等により、今後見込まれる更新需要等に対応します。

※ 契約水量の増量又は減量等により収支に影響が見込まれる場合及び施設の新設等大規模な施設整備を行う場合を除きます。

【山口県の工業用水道料金】

2019（平成31）年4月1日予定



※料金単価は責任水量制換算

(2) 収支計画

経費支出の効率化を行うこと等により、事業全体では4.3億円～8.7億円程度の純利益を確保できる見通しです。

内部留保資金については、災害、渇水等の非常時や急な減量等に備えた経営資金として14億円程度を確保しながら、安定供給体制の強化に資する事業や本格化する老朽化・耐震化対策等に計画的、効率的に活用します。

【収支計画】

(単位：百万円)

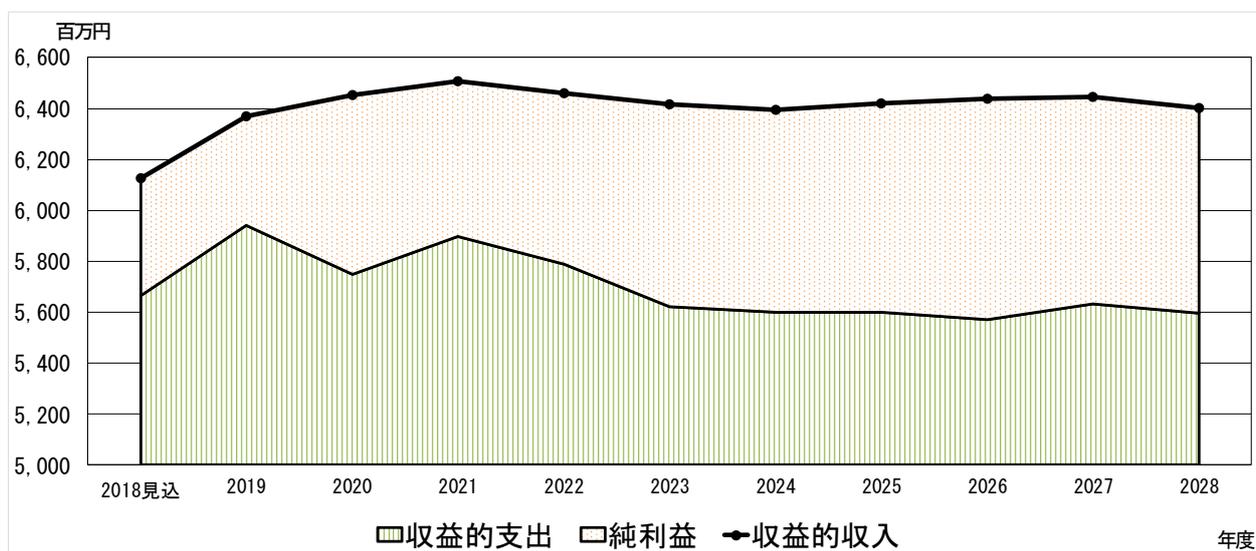
		2018見込	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
収益的 収 支	収入	6,125	6,369	6,451	6,507	6,461	6,416	6,396	6,420	6,438	6,446	6,402
	給水収益	5,375	5,666	5,734	5,734	5,734	5,749	5,734	5,766	5,798	5,812	5,798
	支出	5,667	5,941	5,750	5,899	5,790	5,623	5,601	5,600	5,571	5,631	5,596
	減価償却費	2,520	2,680	2,667	2,644	2,652	2,635	2,624	2,637	2,599	2,598	2,580
	支払利息	197	168	165	160	159	160	163	166	170	174	178
	純利益	458	428	701	608	671	793	795	820	867	815	806
資本的 収 支	収入	2,155	1,913	1,590	1,558	1,402	1,337	1,317	1,170	1,078	1,185	1,249
	企業債	1,280	1,390	1,320	1,240	1,150	1,090	1,050	1,020	990	960	940
	支出	7,484	6,375	5,273	5,685	4,591	4,831	4,372	3,421	3,567	5,825	5,183
	建設改良費	6,056	4,983	3,952	4,444	3,441	3,734	3,316	2,400	2,574	4,860	4,237
	企業債償還金	1,428	1,392	1,321	1,242	1,150	1,097	1,056	1,021	993	965	946
	収支差引	▲ 5,329	▲ 4,462	▲ 3,683	▲ 4,127	▲ 3,189	▲ 3,494	▲ 3,055	▲ 2,251	▲ 2,489	▲ 4,640	▲ 3,934
	内部留保資金（単年度）	▲ 2,433	▲ 1,308	▲ 386	▲ 879	42	▲ 115	268	1,027	838	▲ 1,108	▲ 485
	内部留保資金（累計）	4,061	2,753	2,367	1,488	1,530	1,415	1,683	2,710	3,548	2,440	1,955
	企業債残高	17,093	17,091	17,090	17,088	17,088	17,081	17,075	17,074	17,071	17,066	17,060

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み

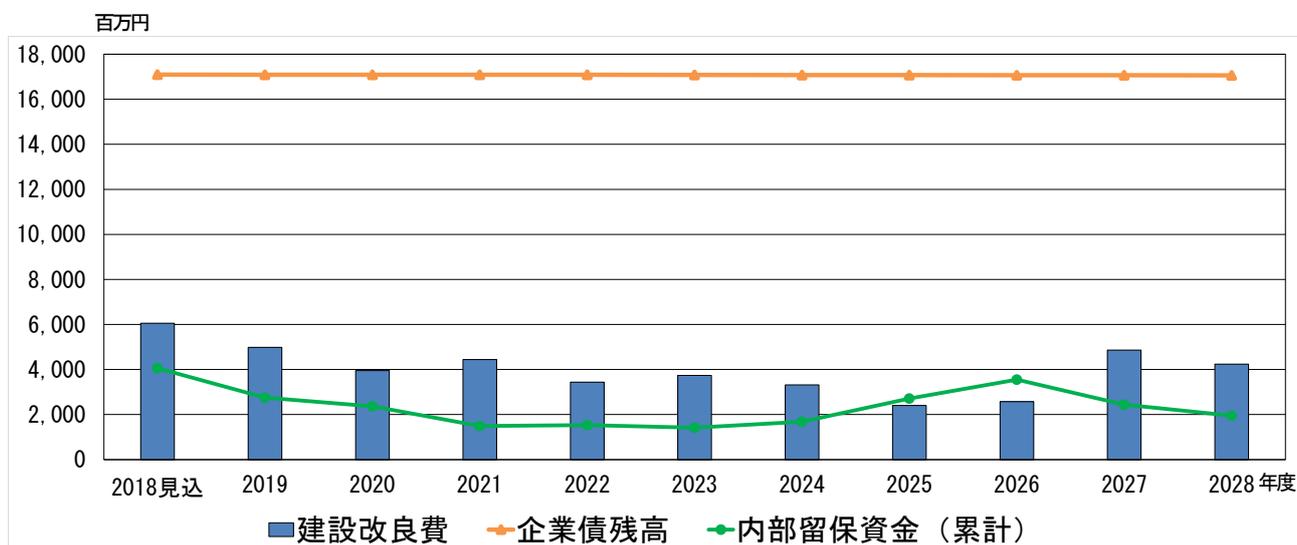
※資本的収支は一般会計への貸付金を除く

※内部留保資金には一般会計への貸付金を含む

【収益的収支（事業の管理や運営に関する収支）の見通し】



【建設改良費、企業債残高及び内部留保資金の見通し】



内部留保資金には一般会計への貸付金を含む

■収支計画の基本的な考え方

【収益的収入】

- ・ 給水収益は、今後の給水量の見通しを踏まえ、現行料金単価に基づき計上しています。

【収益的支出】

- ・ 維持管理費は、過去3年間の実績をもとに計上しています。
- ・ 減価償却費は、既存分に今後の建設改良費を加味して計上しています。
- ・ 支払利息は、既存分に今後の起債額を加味して計上しています。

【資本的収入】

- ・ 国庫補助金は、島田川工業用水道建設事業について計上しています。
- ・ 企業債の起債額は、当該年度の償還額以内で計上しています。

【資本的支出】

- ・ 建設改良費は、「工業用水道事業施設整備10か年計画」（2019～2028年度）に基づく事業費等を計上しています。
- ・ 企業債償還額は、既存分に今後の起債額を加味して計上しています。

(3) 企業債残高

今後の老朽化・耐震化対策の推進等により建設改良費の増加が見込まれますが、事業費の平準化や、内部留保資金の活用等により、企業債の起債額を当該年度の償還額以内とすることで、中長期的に企業債残高の増嵩を抑制します。

(4) 工業用水道事業施設整備10か年計画（2019年度～2028年度）

- アセットマネジメント手法を導入し、施設の健全度・重要度に基づく更新優先順位の設定、中長期的な更新需要や財政収支見通しを踏まえた事業費の平準化などにより、計画的、重点的な整備を実施します。
- 総事業費 約379億円（ダム分担金等を含む）
- 主な事業

地区	事業名	時期	計画期間中の事業費
周南	島田川工業用水道建設事業	2019年度	約12億円
宇部・山陽小野田	厚東川工業用水道改良事業	2019～2022年度	約10億円
	厚東川2期ルートバイパス管布設事業	2019～2026年度	約20億円
	宇部・山陽小野田地区供給体制再構築事業	2019～2024年度	約24億円
下関	木屋川工業用水道二条化事業	2019～2028年度	約68億円

- 管路については、計画期間満了時点（2028年度末）において、健全度が低く、かつ代替施設がない、最も更新優先順位の高いものの更新が完了する見通しです。

【更新対象管路の健全度評価と重要度別延長（2028年度末時点見込み）】

更新優先度							
健全度			重要度				
			A 1 代替施設なし		A 2 代替施設あり		計 (km)
評価	内容	総合評価点数	順位	延長 (km)	順位	延長 (km)	
I	健全	75超～100以下	7	88	8	27	115
II	許容できるが、弱点の改良・強化が必要	50超～75以下	5	36	6	20	56
III	良い状態ではなく、計画的な更新を要する	30超～50以下	3	20	4	9	29
IV	良い状態ではなく、速やかな更新を要する	0～30以下	1	0	2	23	23
合計				144		79	223



島田川工業用水道建設事業



厚東川工業用水道改良事業

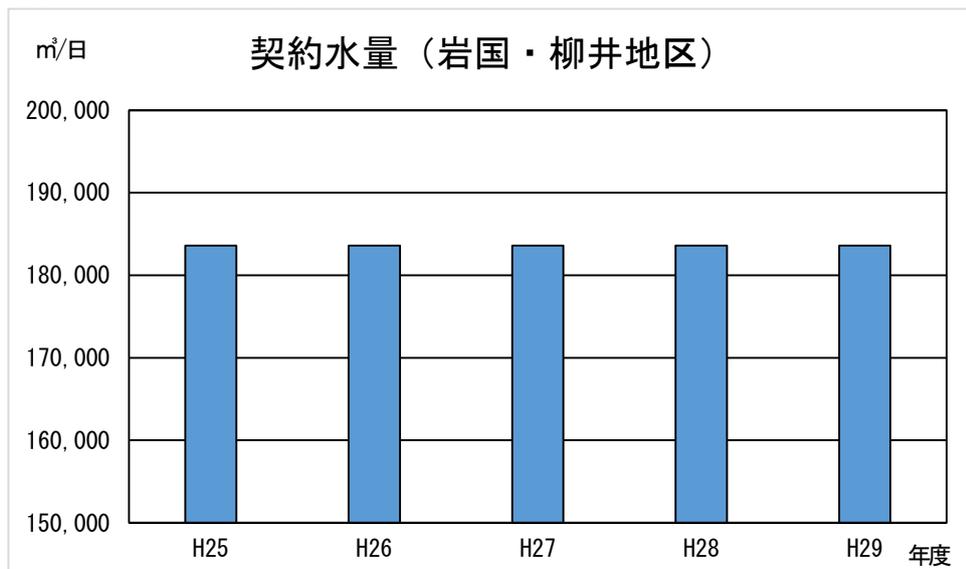
(5) 地区別計画

岩国・柳井地区

ア 現状

岩国・柳井地区においては、小瀬川工業用水道は全量契約済みですが、小瀬川第2期工業用水道に未契約水（2,000m³/日）が、生見川工業用水道に未契約水（1,300m³/日）及び未稼働水（86,300m³/日）があります。

小瀬川工業用水道に安定供給対策のためポンプ場の予備発電機を設置するなど、適切な維持管理に努めています。



※各年度末の契約水量（他地区も同じ）

イ 収支計画

未契約水を抱えていることなどから、引き続き資金不足が生じる見込みです。

（単位：百万円）

		2018見込	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
収益的 収 支	収入	656	652	648	647	647	648	646	646	646	647	645
	支出	608	614	608	608	610	610	609	600	595	590	597
	純利益	48	38	40	39	37	38	37	46	51	57	48
資本的 収 支	収入	50	20	252	194	90	29	0	45	45	27	72
	支出	378	368	672	597	402	339	165	178	167	227	412
収支差引		▲ 328	▲ 348	▲ 420	▲ 403	▲ 312	▲ 310	▲ 165	▲ 133	▲ 122	▲ 200	▲ 340
内部留保資金（単年度）		▲ 35	▲ 45	▲ 97	▲ 85	▲ 9	▲ 7	127	164	174	104	▲ 20

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み

ウ 施設整備計画

① 小瀬川工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
送水施設改良											耐震化対策
送水管改良											老朽化対策、機能強化
ポンプ場施設改良											老朽化・安定給水対策
機械・電気・計装設備更新											老朽化対策

- ◇ 送水施設改良
耐震性のない吸水井・接合井等について、計画的に耐震化します。
- ◇ 送水管改良
老朽化した送水管を計画的に二条化します。
- ◇ ポンプ場施設改良
老朽化したポンプ設備等の更新とあわせ、浸水対策を図ります。
- ◇ 機械・電気・計装設備更新
計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

② 小瀬川第2期工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
機械・電気・計装設備更新											老朽化対策

- ◇ 機械・電気・計装設備更新
計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

③ 生見川工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
機械・電気・計装設備更新											老朽化対策

- ◇ 機械・電気・計装設備更新
計画的な更新に努め、施設機能を維持します。



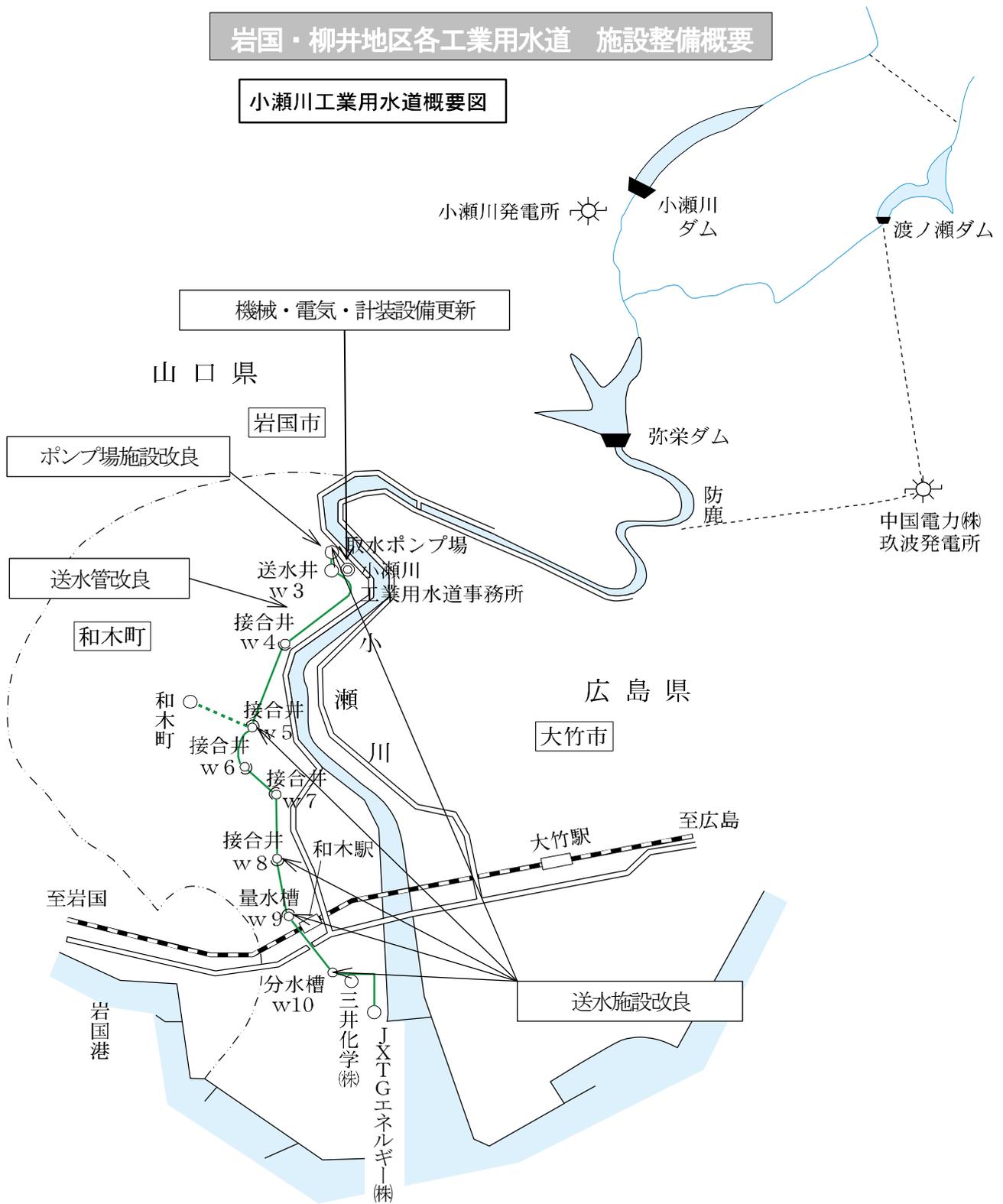
小瀬川工業用水道接合井



小瀬川工業用水道送水井・ポンプ場

岩国・柳井地区各工業用水道 施設整備概要

小瀬川工業用水道概要図



機械・電気・計装設備更新

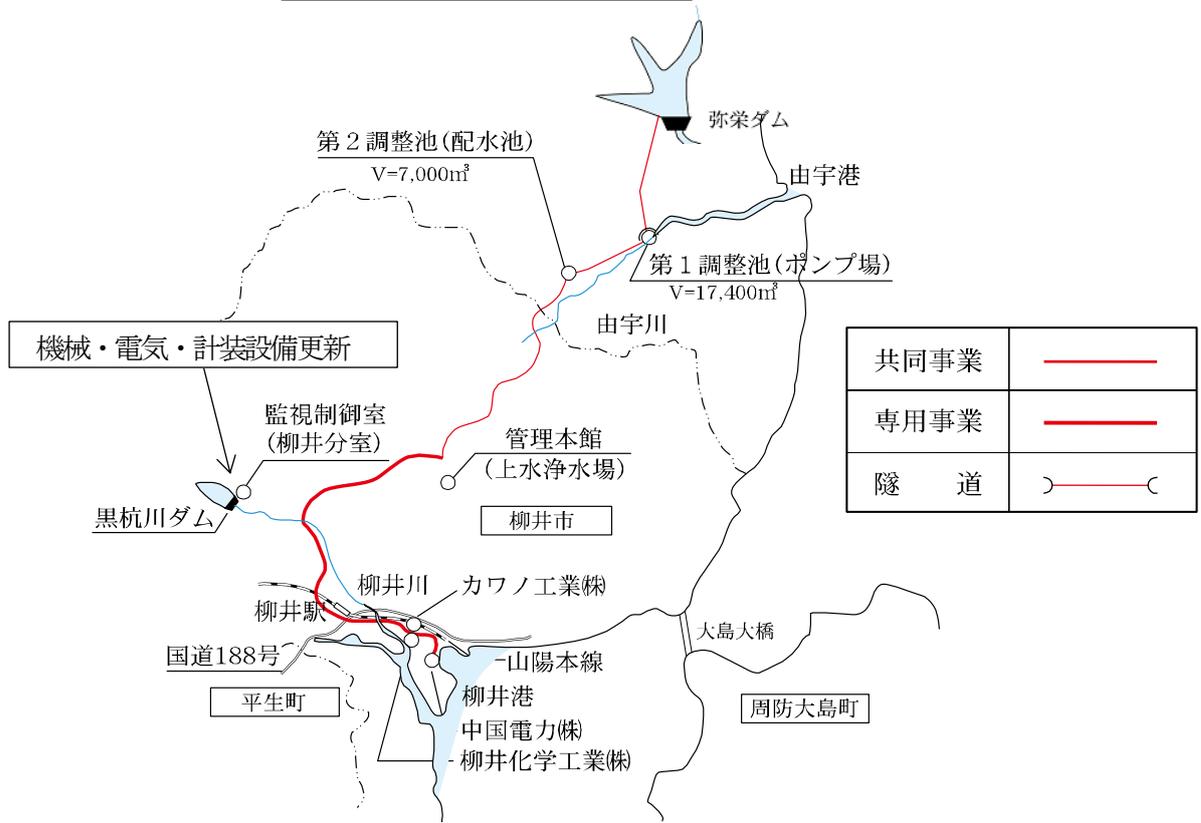
ポンプ場施設改良

送水管改良

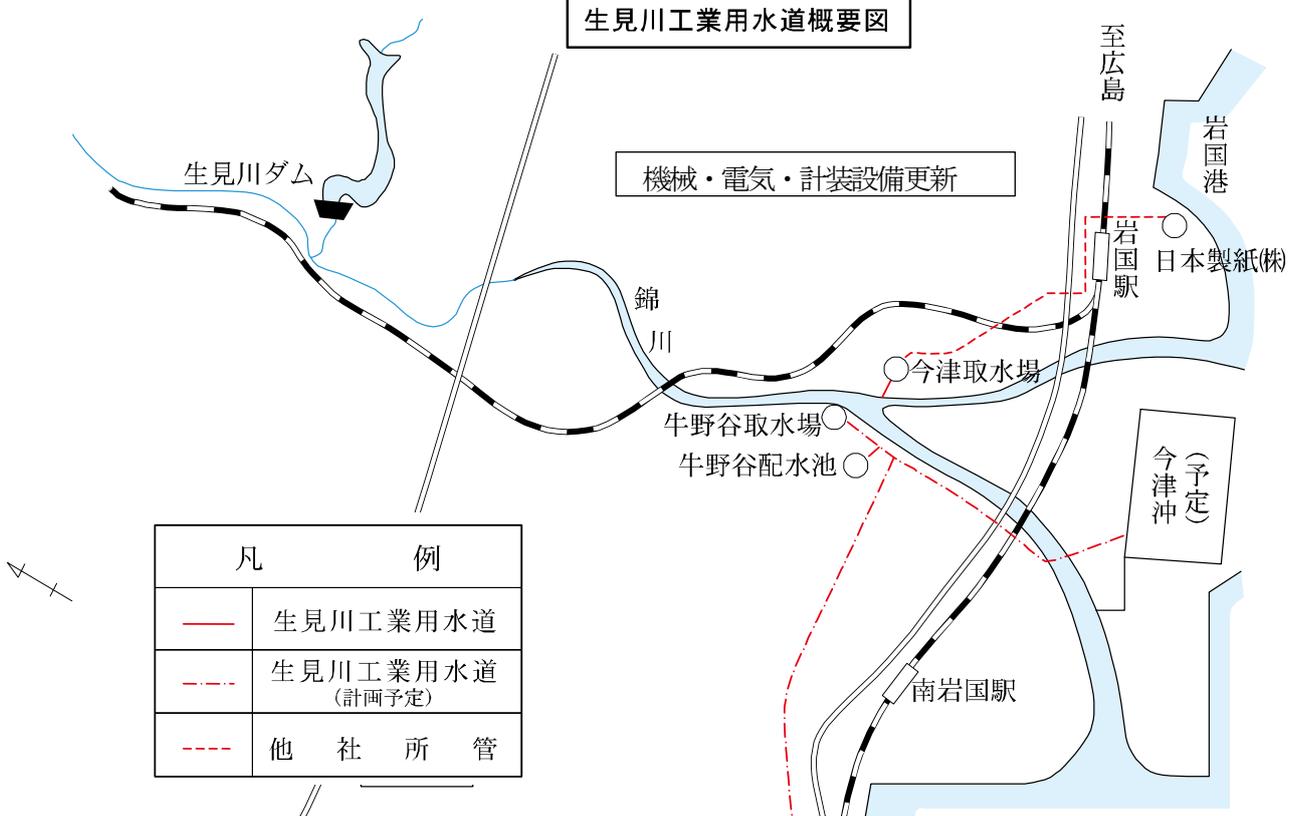
送水施設改良

凡	例
	小瀬川工業用水道
	他社所管
	隧道

小瀬川第2期工業用水道概要図



生見川工業用水道概要図



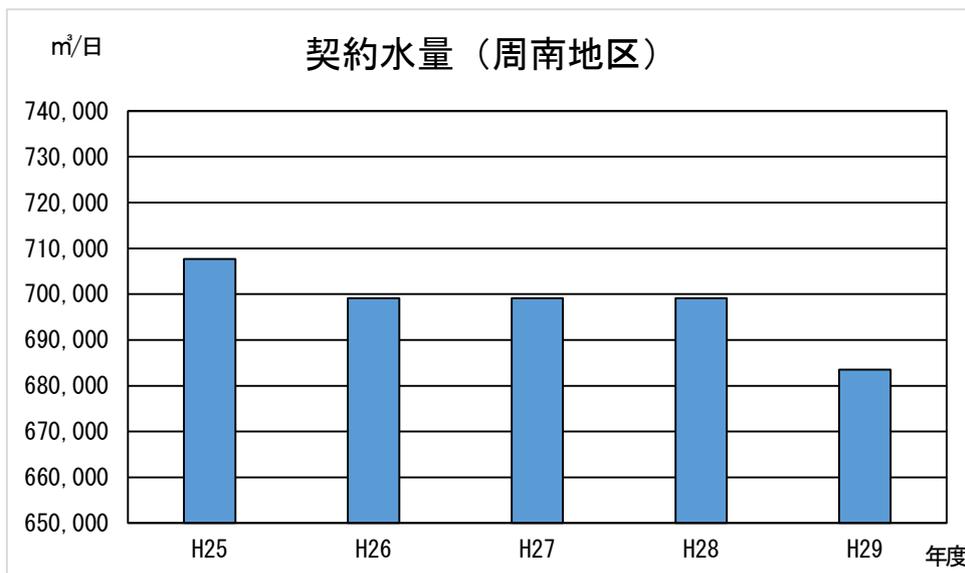
周南地区

ア 現状

周南地区は、4つの工業用水道で県内最大の707,700m³/日の給水能力を有しています。企業の事業再編等により周南工業用水道に未契約水(24,200m³/日)がありますが、少雨による渇水に度々見舞われるなど、水需要は逼迫しています。

現在、周南地区に新たに14,100m³/日を供給する島田川工業用水道の建設を進めています。

また、徳山導水路改良工事を実施するなど、施設の適切な維持管理に努めています。



イ 収支計画

島田川工業用水道建設事業や施設の更新などにより、計画期間中に82億円程度の建設改良費を見込んでいます。島田川工業用水道建設事業については、引き続き安定供給体制の強化を図るための重点的な取組と位置付け、国庫補助金や内部留保資金を活用して施設整備等を実施します。

(単位：百万円)

		2018見込	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
収益的 収 支	収入	2,467	2,632	2,830	2,897	2,862	2,811	2,802	2,797	2,786	2,792	2,784
	支出	2,192	2,353	2,374	2,594	2,482	2,273	2,234	2,234	2,200	2,207	2,222
	純利益	275	279	456	303	380	538	568	563	586	585	562
資本的 収 支	収入	737	571	510	281	296	134	167	259	193	211	365
	支出	3,073	2,688	1,378	1,091	1,110	863	1,002	938	938	1,349	1,601
収支差引		▲ 2,336	▲ 2,117	▲ 868	▲ 810	▲ 814	▲ 729	▲ 835	▲ 679	▲ 745	▲ 1,138	▲ 1,236
内部留保資金(単年度)		▲ 1,069	▲ 762	549	419	497	679	588	744	681	332	245

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み

ウ 施設整備計画

① 末武川工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
水管橋改良(末武川北水管橋)											耐震化対策
機械・電気・計装設備更新											老朽化対策

◇ 水管橋改良

耐震性のない末武川北水管橋について、計画的に耐震化します。

◇ 機械・電気・計装設備更新

計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

② 周南工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
配水管改良											老朽化、耐震化対策、機能強化
配水施設改良											耐震化対策
周南センター計算機・監視設備更新											老朽化対策
機械・電気・計装設備更新											老朽化対策

◇ 配水管改良

バックアップ機能強化のため、菅野4号線、菅野10号線を二条化します。
また、老朽化した管路を計画的に更新します。

◇ 配水施設改良

耐震性のない梅花川水管橋、平田川水管橋及び西配水槽について、計画的に耐震化します。

◇ 周南センター計算機・監視設備更新

老朽化した計算機・監視設備を計画的に更新します。

◇ 機械・電気・計装設備更新

計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

③ 向道・川上工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
機械・電気・計装設備更新											老朽化対策

◇ 機械・電気・計装設備更新

計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

④ 富田・夜市川工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
配水管改良	■										老朽化、耐震化対策
水管橋改良(夜市川水管橋)			■								耐震化対策
周南センター計算機・監視設備更新									■		老朽化対策
機械・電気・計装設備更新	■										老朽化対策

- ◇ 配水管改良
老朽化した管路を計画的に更新します。
- ◇ 水管橋改良
耐震性のない夜市川水管橋について、計画的に耐震化します。
- ◇ 周南センター計算機・監視設備更新
老朽化した計算機・監視設備を計画的に更新します。
- ◇ 機械・電気・計装設備更新
計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

⑤ 島田川工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
導水施設建設	■										水資源対策

- ◇ 導水施設建設
光市の下林取水場（島田川）から下松市の御屋敷山配水池まで、導水施設を建設し、2020年3月の給水開始を目指します。

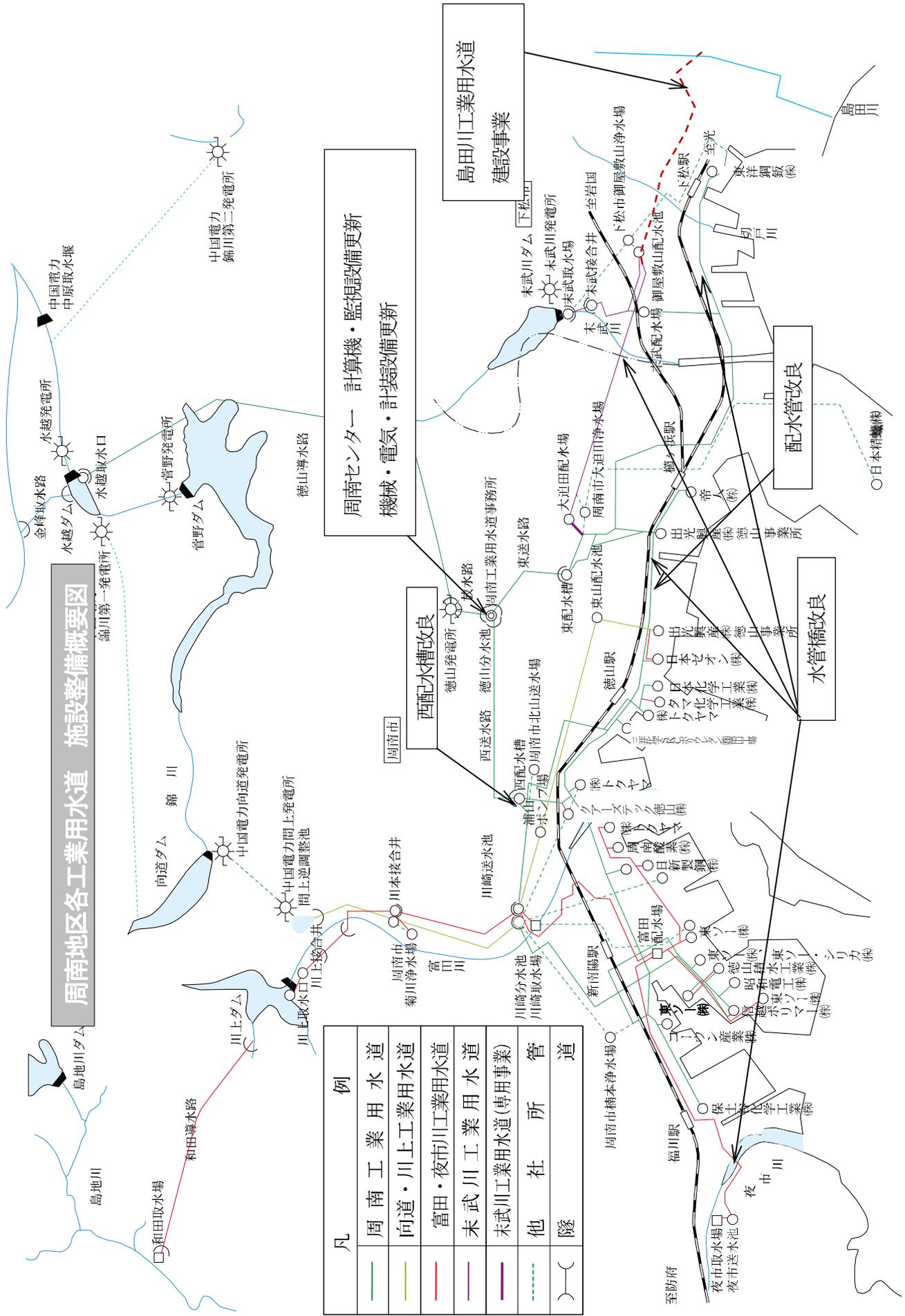


周南工業用水道事務所



夜市川水管橋

周南地区各工業用水道 施設整備概要図



凡	例
—	周南工業用水道
—	向道・川上工業用水道
—	富田・夜市川工業用水道
—	未武川工業用水道
—	未武川工業用水道(専用事業)
---	他社
—(隧道

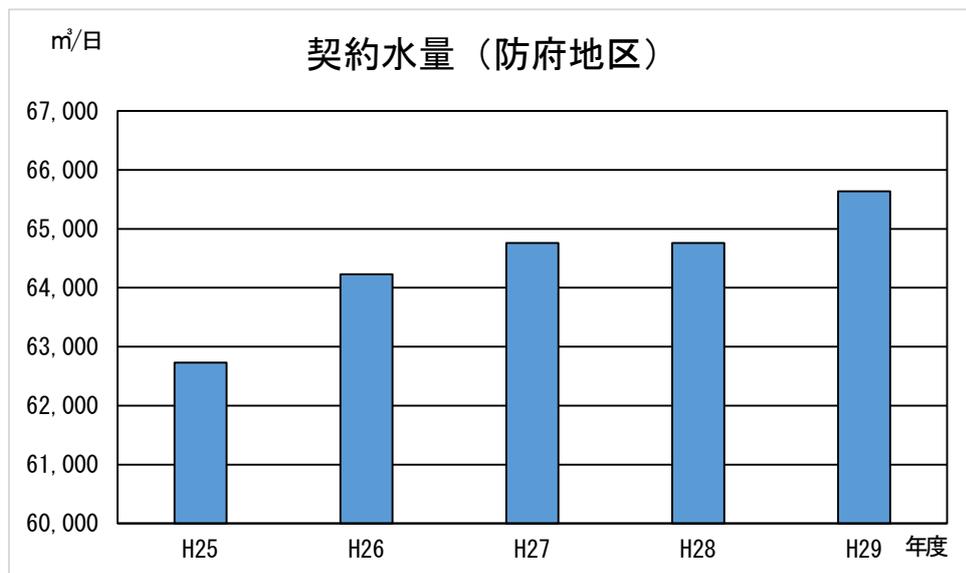
防府地区

ア 現状

防府地区においては、企業の撤退や水使用の合理化等により減量が相次ぎ、契約率は地区全体で約47%となっています。

現在、佐波川工業用水道に未契約水（49,870m³/日）が、佐波川第2期工業用水道に未契約水（32,540m³/日）及び未稼働水（40,450m³/日）がありますが、今後、まとまった新規需要が見込まれています。

これまで、取水能力が低下した集水埋渠を改良するなど、施設の適切な維持管理に努めています。



イ 収支計画

今後、まとまった新規需要が見込まれていますが、引き続き未契約水及び未稼働水を抱えることから、資金不足が生じる見込みです。

(単位：百万円)

		2018見込	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
収益的 収 支	収入	453	512	509	509	509	510	508	508	508	510	508
	支出	555	661	490	490	488	494	505	516	537	565	570
	純利益	▲ 102	▲ 149	19	19	21	16	3	▲ 8	▲ 29	▲ 55	▲ 62
資本的 収 支	収入	34	30	116	97	107	101	195	253	372	265	145
	支出	415	154	249	304	272	348	481	444	790	1,187	562
	収支差引	▲ 381	▲ 124	▲ 133	▲ 207	▲ 165	▲ 247	▲ 286	▲ 191	▲ 418	▲ 922	▲ 417
内部留保資金（単年度）		▲ 338	▲ 53	36	▲ 34	3	▲ 72	▲ 101	▲ 11	▲ 210	▲ 681	▲ 238

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み

ウ 施設整備計画

① 佐波川工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
佐波川センター 計算機・監視・受 変電設備更新											老朽化対策
機械・電気・計装 設備更新											老朽化対策

◇ 佐波川センター計算機・監視・受変電設備更新
老朽化した計算機設備等を計画的に更新します。

◇ 機械・電気・計装設備更新
計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

※ このほか、防府地区における安定供給体制の強化に資する施設整備について、
経営への影響や需要動向等を踏まえ、別途検討します。

② 佐波川第2期工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
佐波川センター 計算機・監視・受 変電設備更新											老朽化対策
機械・電気・計装 設備更新											老朽化対策

◇ 佐波川センター計算機・監視・受変電設備更新
老朽化した計算機設備等を計画的に更新します。

◇ 機械・電気・計装設備更新
計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

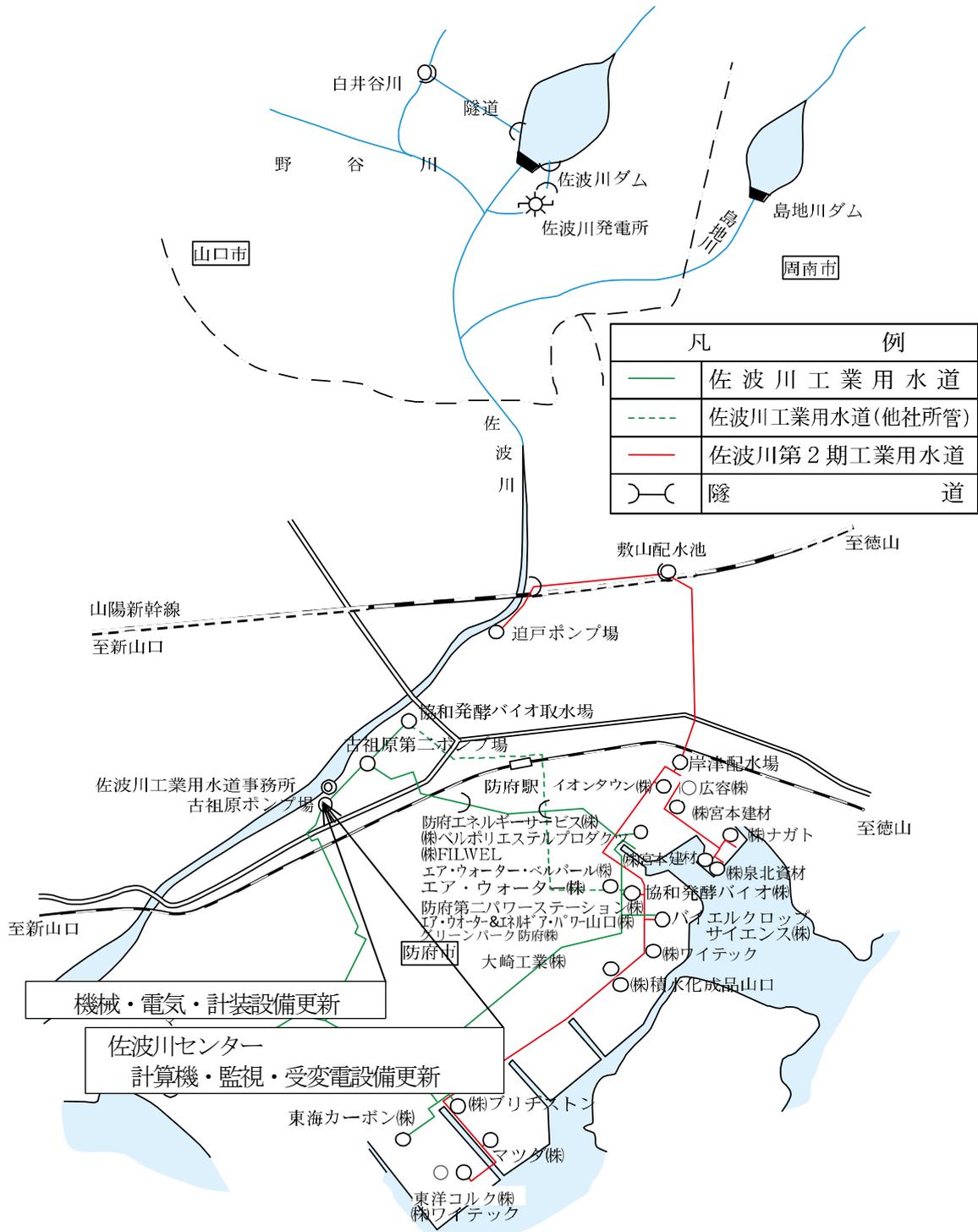


古祖原ポンプ場



予備発電機

防府地区各工業用水道 施設整備概要図



宇部・山陽小野田・美祢地区

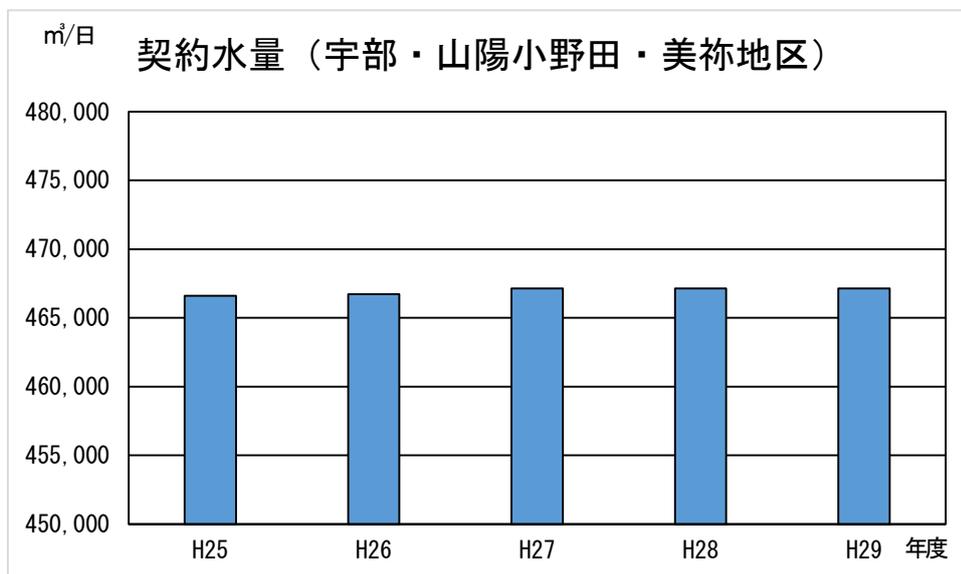
ア 現状

宇部・山陽小野田・美祢地区においては、厚東川工業用水道は全量契約済みですが、未契約水が厚東川第2期工業用水道に600m³/日、厚狭川工業用水道に9,580m³/日あります。

今後、企業の事業再編による減量や新規投資計画による増量など、需給状況の変化が見込まれています。

少雨による渇水に度々見舞われており、これまで、厚東川水系渇水対策協議会等において様々な渇水対策を検討し、実施してきました。

また、主要管路のバイパス管を整備するなど、安定供給体制の強化に努めています。



イ 収支計画

老朽化対策や需給状況の変化に伴う供給体制の再構築等により、計画期間中に132億円程度の建設改良費を見込んでいます。厚東川第2期工業用水道及び厚狭川工業用水道に係るバイパス管布設工事や供給体制の再構築については、引き続き安定供給体制の強化を図る重点的な取組と位置付け、国庫補助金や内部留保資金を活用して施設整備等を実施します。

(単位：百万円)

		2018見込	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
収益的 収 支	収入	1,855	1,881	1,773	1,764	1,753	1,756	1,750	1,781	1,810	1,809	1,777
	支出	1,847	1,794	1,784	1,701	1,697	1,704	1,695	1,695	1,684	1,690	1,605
	純利益	8	87	▲ 11	63	56	52	55	86	126	119	172
資本的 収 支	収入	830	430	489	548	529	455	247	304	244	242	138
	支出	2,222	1,615	2,242	2,831	2,057	1,875	1,413	1,203	1,105	1,547	1,028
	収支差引	▲ 1,392	▲ 1,185	▲ 1,753	▲ 2,283	▲ 1,528	▲ 1,420	▲ 1,166	▲ 899	▲ 861	▲ 1,305	▲ 890
内部留保資金（単年度）		▲ 597	▲ 254	▲ 854	▲ 1,244	▲ 557	▲ 464	▲ 262	20	81	▲ 320	48

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み

ウ 施設整備計画

① 厚東川工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
水路橋改良 (全6橋)											老朽化、耐震化対策
送水管改良											老朽化、耐震化対策
厚東川センター 計算機・監視設備 更新											老朽化対策
機械・電気・計装 設備更新											老朽化対策

- ◇ 水路橋改良
耐震診断を実施し、必要な耐震化対策を講じます。
- ◇ 送水管改良
老朽化した送水管を計画的に更新します。
- ◇ 厚東川センター計算機・監視設備更新
老朽化した計算機・監視設備を計画的に更新します。
- ◇ 機械・電気・計装設備更新
計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

② 厚東川第2期工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
2期ルートバイパス管布設											老朽化、耐震化対策、機能強化
水管橋改良 (全2橋)											耐震化対策
有帆ポンプ場ポンプ・予備発電設備更新											老朽化対策
機械・電気・計装 設備更新											老朽化対策

- ◇ 2期ルートバイパス管布設
老朽化した2期ルートについて、計画的にバイパス管を布設します。
- ◇ 水管橋改良
耐震性のない水管橋について、計画的に耐震化します。
- ◇ 有帆ポンプ場ポンプ・予備発電設備更新
老朽化したポンプ設備等を計画的に更新します。
- ◇ 機械・電気・計装設備更新
計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

③ 厚狭川工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考	
2期ルートバイパス管布設											老朽化、耐震化対策、機能強化	
配水管改良												老朽化、耐震化対策、機能強化
水管橋改良(有帆川水管橋)											耐震化対策	
山陽取水ポンプ場ポンプ・受変電・予備発電設備更新											老朽化対策	
機械・電気・計装設備更新											老朽化対策	

◇ 2期ルートバイパス管布設

老朽化した山陽ルートについて、計画的にバイパス管を布設します。

◇ 配水管改良

西部石油ルートの老朽化対策及び宇部・山陽小野田地区の工業用水の供給体制の再構築に取り組みます。

◇ 水管橋改良

耐震性のない有帆川水管橋について、計画的に耐震化します。

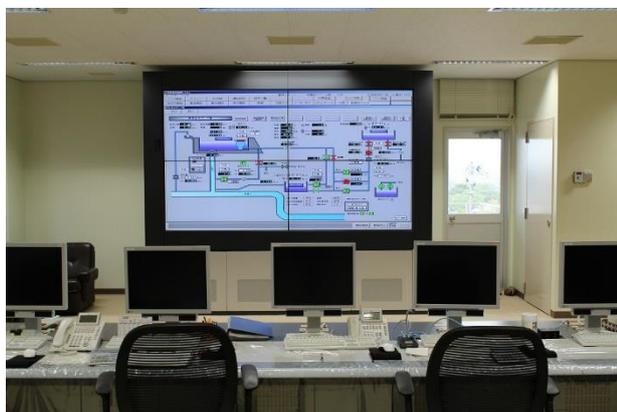
◇ 山陽取水ポンプ場ポンプ・受変電・予備発電設備更新

老朽化したポンプ設備等を計画的に更新します。

◇ 機械・電気・計装設備更新

計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

※ 宇部・山陽小野田地区における供給体制の再構築については、投資動向等を踏まえながら検討します。

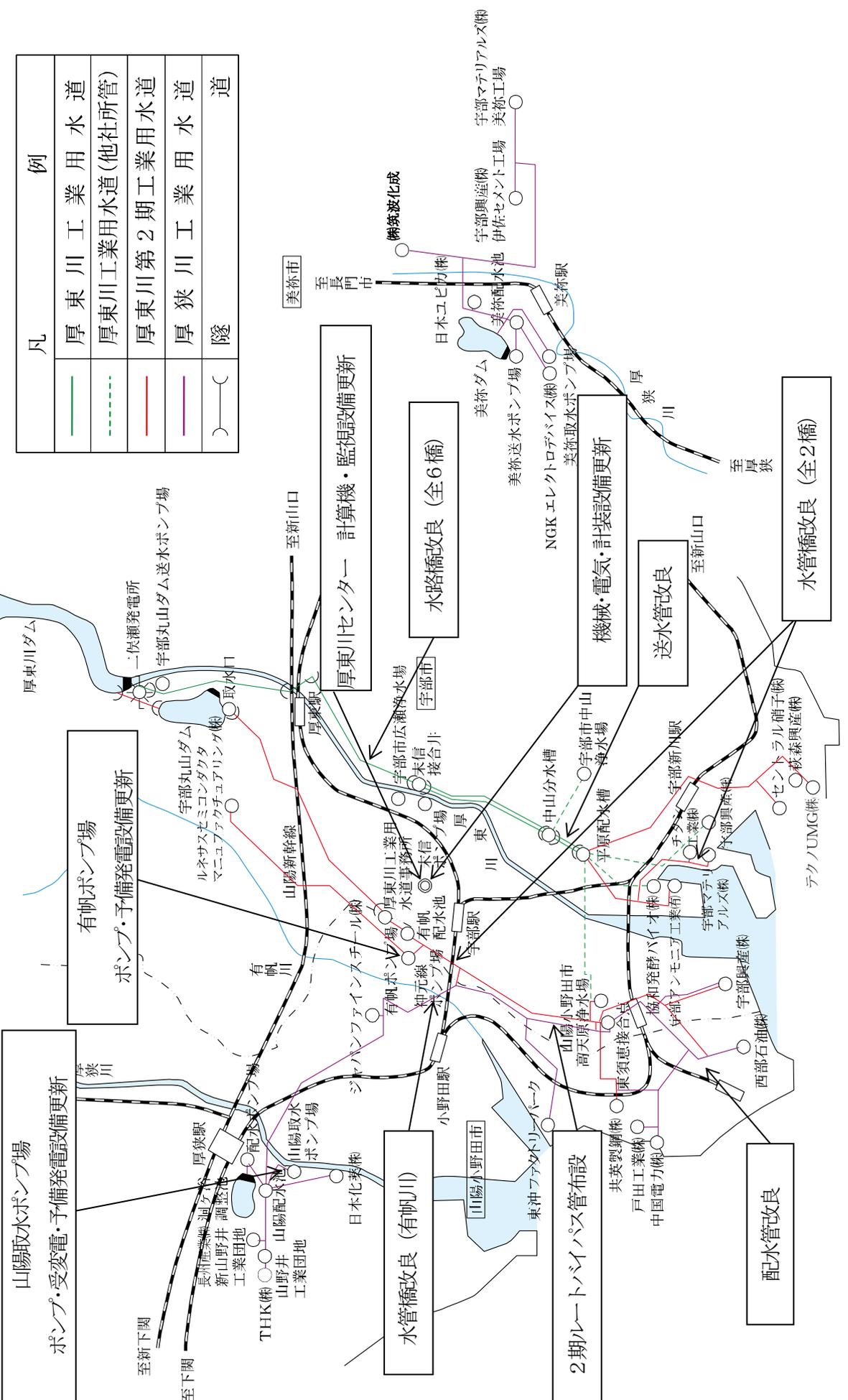


厚東川工業用水道事務所



有帆ポンプ場

宇部・山陽小野田・美祢地区各工業用水道 施設整備概要図



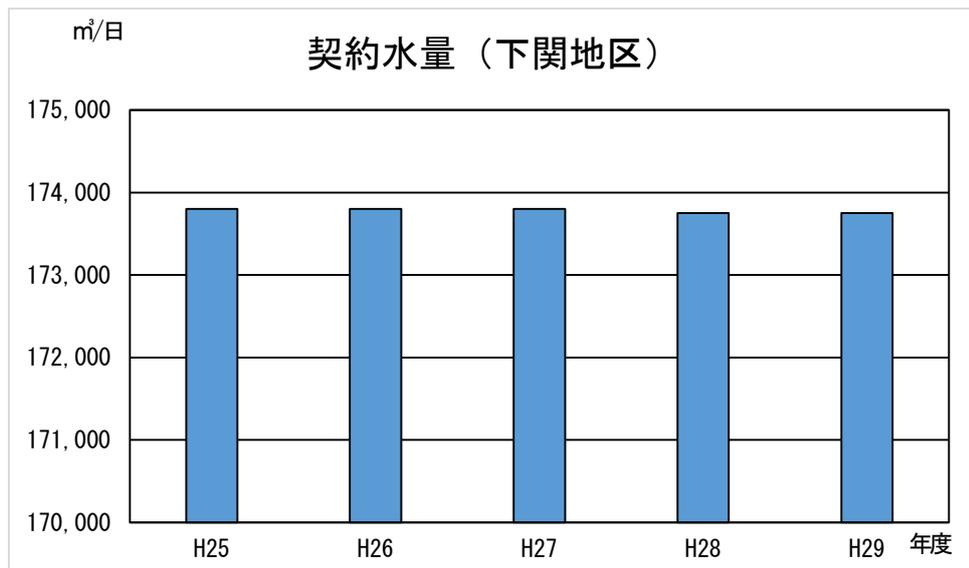
凡	例
—	厚東川工業用水道
- - -	厚東川工業用水道(他社所管)
—	厚東川第2期工業用水道
—	厚狭川工業用水道
—	道

下関地区

ア 現状

下関地区においては、木屋川工業用水道に未契約水（9,170 m³/日）が、木屋川第2期工業用水道に未契約水（480 m³/日）及び未稼働水（18,600 m³/日）があります。

現在、老朽化した送水路の二条化を進めるなど、安定供給体制の強化に努めています。



イ 収支計画

木屋川工業用水道二条化事業の実施等により、計画期間中に9.7億円程度の建設改良費を見込んでいます。木屋川工業用水道二条化事業については、引き続き安定供給体制の強化を図るための重点的な取組と位置付け、内部留保資金を活用して施設整備等を実施します。

(単位：百万円)

		2018見込	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
収益的 収 支	収入	695	693	691	690	690	692	689	689	688	689	688
	支出	466	521	494	506	515	542	556	555	554	579	602
	純利益	229	172	197	184	175	150	133	134	134	110	86
資本的 収 支	収入	504	861	223	440	380	619	709	309	224	439	528
	支出	1,396	1,550	732	864	750	1,406	1,311	658	567	1,515	1,580
収支差引		▲ 892	▲ 689	▲ 509	▲ 424	▲ 370	▲ 787	▲ 602	▲ 349	▲ 343	▲ 1,076	▲ 1,052
内部留保資金（単年度）		▲ 394	▲ 195	▲ 20	65	108	▲ 252	▲ 83	111	113	▲ 543	▲ 519

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込み

ウ 施設整備計画

① 木屋川工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
水路橋改良 (全3橋)		■				■					耐震化対策
木屋川工業用水道二条化	■										老朽化対策、機能強化
事務所計算機・監視・受変電・予備発電設備更新			■			■					老朽化対策
機械・電気・計装設備更新	■										老朽化対策

◇ 水路橋改良

耐震性のない水路橋について、計画的に耐震化します。

◇ 木屋川工業用水道二条化

老朽化した送水路について、湯の原ダムから小月配水池の間を二条化します。

◇ 事務所計算機・監視・受変電・予備発電設備更新

老朽化した計算機設備等を計画的に更新します。

◇ 機械・電気・計装設備更新

計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

② 木屋川第2期工業用水道

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	備考
配水施設改良 (清末配水池)				■							耐震化対策
木屋川工業用水道二条化	■										老朽化対策、機能強化
事務所計算機・監視・受変電・予備発電設備更新			■			■					老朽化対策
機械・電気・計装設備更新	■										老朽化対策

◇ 配水施設改良

耐震性のない清末配水池について、計画的に耐震化します。

◇ 木屋川工業用水道二条化

老朽化した送水路について、湯の原ダムから小月配水池の間を二条化します。

- ◇ 事務所計算機・監視・受変電・予備発電設備更新
老朽化した計算機設備等を計画的に更新します。
- ◇ 機械・電気・計装設備更新
計画的な更新に努め、施設機能を維持します。

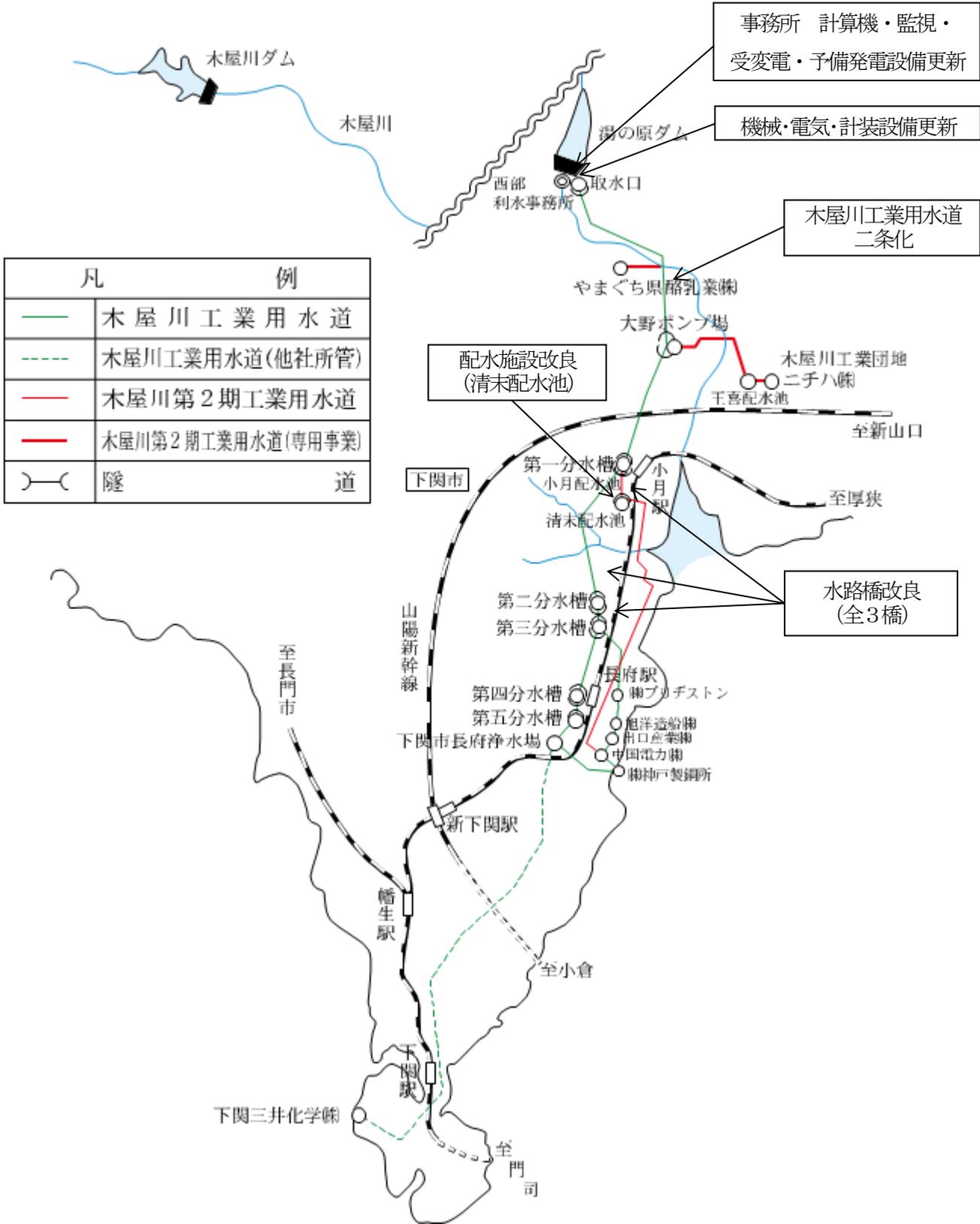


西部利水事務所



湯の原ダム

下関地区各工業用水道 施設整備概要図



凡	例
—	木屋川工業用水道
- - -	木屋川工業用水道(他社所管)
—	木屋川第2期工業用水道
—	木屋川第2期工業用水道(専用事業)
⌋⌋	隧 道

